

平成 22 年度	事業再評価シート			事業番号	1 2	
事務事業名称	友愛訪問事業委託			担当部名	健康福祉部	
				担当課名	高齢者介護課	
事業の種別	<input type="checkbox"/> ハード	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 単年度	担当者(内線) 桜井 1627

1 事業の位置付け

総合計画	第 5 編 第 2 章 第 2 節	市長マニフェストの記載	<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない	
実施計画事業名	個別計画等の名称 上田市高齢者福祉総合計画				
予算事業名	高齢者生きがいづくり事業	会計-款-項-目	一般	款 3 項 2 目 1	
算 主な予算内訳	委託料				

2 事業の概要

根拠法令等	老人福祉法		実施	始	S59
			期間	終	
事業概要	実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	
		<input type="checkbox"/> 補助交付金(交付先:)		<input type="checkbox"/> 指定管理	
	目的 (何のために)	老人クラブ会員であり、寝たきりや一人暮らしであるため、人との接触が少ない高齢者に対し、乳飲料、手づくり作品等を持参し訪問することにより孤独感の解消(生きがいづくり)、健康の増進を図る。また、この事業を通じて、訪問者の生きがい対策、老人クラブの育成を図る。			
	対象 (誰・何を対象に)	老人クラブ会員で寝たきり老人・独居老人、施設入所者			
	内容 (手段・手法等)	単位老人クラブ会員が、週 1 回あるいは 2 週間に 1 回訪問を実施する。1 回に乳飲料 2 本 2 週間に 1 回の場合は 4 本の乳飲料を配布。施設入所者には、老人クラブ女性部で手づくりの作品を作成し手渡す。			
	必要性	寝たきり、施設入所者は、地元の仲間が訪問してくれることが生きがいに通じている。また、独居高齢者は、訪問を受け外部との接点ができることにより、引きこもりを防止することができるとともに、訪問者の生きがい対策にもつながっている。			
	事業の背景 (これまでの経緯等)	老人クラブ活動は、仲間づくりを中心に高齢者の知識や経験を生かし、「奉仕」「健康づくり」「友愛」の 3 本を柱に活動し、老後に生きがいを持てる、健全で安らかな生活をするを目的としている。特に友愛訪問事業は、住み慣れた地域全体で仲間を支え、また、支えられながら、乳飲料や手づくり作品を持参し、訪問することにより互いに生きがいを感じるという観点から進められてきた事業である。			
庁内分権の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁のみで実施		<input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(本庁決裁有)		
	<input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(センター内決裁のみ)		<input type="checkbox"/> その他()		

3 事業費

(単位:千円)

	全体事業費	H20年度決算額	H21年度決算額	H22年度予算額	H23年度計画
支出(直接経費) (A)	0	1,060	1,060	1,060	1,060
(内訳) 委託料	-	1,060	1,060	1,060	1,060
その他()	-				
収入	0	1,060	1,060	1,060	1,060
(内訳) 国庫支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)					
一般財源		1,060	1,060	1,060	1,060
概算人件費 (B)	0	90	90	90	90
(人員)					
正規職員	-	0.012	0.012	0.012	0.012
嘱託職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳) 正規職員 (7,300千円 /人・年)	-	90	90	90	90
嘱託職員 (2,500千円 /人・年)	-	0	0	0	0
臨時職員 (1,300千円 /人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	1,150	1,150	1,150	1,150

4 事業の効果をjるための活動計画・実績

概要	単位老人クラブ会員が、訪問は週1回実施する。1回に2本の乳飲料を配布する。女性部による手づくり作品を寝たきり老人や施設に訪問して手渡す。会話を通じて孤独感をなくすとともに、生きがいを感じ、健康の増進にもつながる。				
	指標名	単位	H20年度目標	H21年度目標	H22年度目標
	訪問者数 訪問施設数	人 箇所			
	指標名	単位	実績	実績	実績
	訪問者数 訪問施設数	人 箇所	273 5	288 5	

5 活動実績による事業の效果

平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきり高齢者及び独居高齢者（病弱）148人に乳飲料配布。 寝たきり高齢者125人に手づくり作品を手渡す。 5施設を慰問し手づくり作品を渡す。
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきり高齢者及び独居高齢者（病弱）155人に乳飲料配布。 寝たきり高齢者133人に手づくり作品を手渡す。 5施設を慰問し手づくり作品を渡す

6 内部による事業仕分けの改革方針と取組状況

事業仕分け年度	平成20年度	導入目標年度	平成23年度
決定方針	一部地域のみで実施されていることから、全市統一化、または廃止の両面から検討する。		
これまでの取組状況	この事業は、老人クラブの活動目標の柱の一つであり、老人クラブの活性化施策の一つであることから、課内や老人クラブとの検討を進めてきた。		
今年度の取組	委託事業のあり方や老人クラブの活性化に向けて、上田地域老人クラブ連合会と検討を2回行った。 友愛活動について、丸子、真田、武石地域老人クラブの状況調査を行った。		
来年度以降の取組	乳飲料を配布しながら訪問することは、会員の中で定着している。丸子、真田、武石地域を見ると、それぞれ特徴のある友愛事業を行っている。 この事業は老人クラブ活動の柱の一つであること、老人クラブの活性化の一つであることを考えると、老人クラブとは事業について今後も検討を重ねていく必要がある。		

7 その他

事業を廃止したときの影響	<p>友愛訪問事業は、老人クラブ会員同士の共助により、老人クラブの活性化の目的があった。事業廃止をすることにより、同様の手法による継続は困難となる。</p> <p>また、互いに支えあうことにより高齢者同士が生きがいを感じ、加えて訪問する者は、社会に貢献しているという充実感をもって行っているため、老人クラブの活性化にも影響がある。</p>
特記事項 (留意事項等)	

8 再評価(行政改革推進室：評価の見直し・今後の方向性)

<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 非常勤職員化	<input checked="" type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input type="checkbox"/> 歳入確保
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 業務委託化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 指定管理者化	<input type="checkbox"/> 期限の設定	<input type="checkbox"/> 施設・設備の改善
<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理見直し	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 他事業と統合	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO等主体	<input type="checkbox"/> 地域内分権推進	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 移管・譲渡	<input type="checkbox"/> 市民(自治会等)主体	<input type="checkbox"/> 庁内分権推進	<input type="checkbox"/>
再評価の視点	一部地域のみで実施されていることから、全市統一化、または廃止の両面から検討する。		
実施目標年度	平成 24 年度	方向性	全市統一化、事業内容及び手法の見直し
概要	<p>高齢者への訪問による安否の確認、互助の役割については、市民による地域づくりや市民協働の推進、地縁の強化にもつながる事業であり、また地域の老人クラブが事業を担うことで、高齢者の社会参加を促進する効果も期待できる。</p> <p>しかしながら、本事業は上田地域の連合会加入老人クラブに限定された事業であり、全地域に広がった事業ではなく、他地域では、独自の訪問活動が実施されている。</p> <p>このような活動は、地域福祉推進のモデル的な活動であり、全市的な事業として事業内容を見直す必要があると考える。</p>		